

「日本文化入門」受講学生の感想はこちら

奥井 さとみ さん(コミュニティ生活学科2年／島根県立大東高等学校出身)

授業の一環として和風堂を訪問することができ、貴重な体験をさせていただきました。和風堂はとても趣があり落ち着いた場所でした。一つ一つの部屋を案内してもらおうと目に入る色々な物に興味が湧きました。ちょっとしたところにも工夫がされ、創意工夫の大切さを改めて実感することができました。廊橋からのお庭の眺めと、座ってみる眺めとそれぞれに応じて景色が美しく配置されていると感じました。春にはしだれ桜などの味わいがあり、秋にはもみじのというように四季折々の日本の良さがあることを改めて感じました。お茶もより一層おいしくいただくことができました。この訪問で日本文化の良さを知り、本当に貴重な体験をすることができてとても良い時間を過ごせました。

翌週の授業では、長束キャンパスの教職員の先生方をお招きしました。掛け軸の色紙は、お茶と関係深い禅で使う文字の中から今の気持ちに合う字を選んで書きました。これも含めておもてなしの心が伝わったのではないかと思います。

盛田 瑞穂 さん(保育学科2年／山口県立下松高等学校出身)

「日本文化入門」の授業を受けるたび、とても清らかな気持ちになり、毎週新しい発見の連続でした。例えば、浴衣の着付けを学んだ授業では、着付けとともに着物の種類について学びました。着ていく場面で素材や模様も色々あり、とても奥が深いと感じました。それ以降、着物を着ている人を見かけると、どこへ行くのかなと想像することを楽しんでいました。

特に驚いたのは、お抹茶についてです。玉露にしても煎茶にしてもほうじ茶にしても色々なお茶の木があると思っていたので、お茶はすべて同じ茶葉で、育てる環境や加工方法によってこうも変わっていくのは不思議なことだと感じました。

実践では、お部屋の掃除から始まり、歩き方などを学びました。始めは慣れなくて難しかったのですが、回を重ねるごとに慣れていくことができました。お茶碗を学んでからは意識して模様などを見ていました。

和菓子にも衝撃を受けました。お茶菓子を食べたのは初めてで、その優しい甘さのあとでお茶を飲むとその苦さですっきりとすることがわかりました。他の人に飲んでもらおうと心を込めることが大切だと知りました。

授業を通して、他学科の学生とのつながりや人を思いやる気持ち、マナーなど多くのことを学ぶことができました。忙しい毎日の中で、ほっと心が安らぐことができ、授業を受けて本当に良かったと思います。学んだことを日常から意識して生活していきたいと思います。ありがとうございました。